

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2014年4月16日

4月16日（水）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野 上席副所長 牛島 俊和先生を迎え、「エピジェネティック発がん機構とエピジェネティック治療の基本原則」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。牛島先生は、本セミナー開催直前に、本学の研究力強化戦略の一環として開催された「平成26年度CREST・さきがけ学内公募説明会」においても講師として、CREST・さきがけ採択に向けたアドバイスを全学向けにお話し頂きました。

本セミナーでは、胃がん発生過程でのピロリ菌感染によるDNAメチル化の制御機構や、新しいマーカー遺伝子のメチル化解析による、胃がん手術後の予後診断に関する新しい研究成果、そしてがんのエピゲノム治療のメカニズムに関する最新の知見についてお話し頂きました。

セミナーには、他研究機関を含む所内外の研究者並びに大学院生ら50数名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われ、大変盛況なうちに終了しました。



がん進展制御研究所セミナー

エピジェネティック発がん機構と エピジェネティック治療の基本原則

講演者

国立がん研究センター研究所 上席副所長
エピゲノム解析分野

牛島 俊和 先生

日時：平成26年4月16日(水) 16:30~17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室



牛島先生は、胃がん研究およびエピジェネティクス研究領域で、日本を代表する研究者として、世界的に活躍されています。特に、ピロリ菌に感染した胃粘膜上皮細胞において、感染に起因した炎症反応がDNAメチル化を誘導し、胃がん発生を促進することを明らかにし、感染とがんをつなぐ重要な知見となっています。

セミナーでは、エピジェネティック発がん機構の制御による「エピジェネティック治療」研究について紹介して頂きます。

皆様、奮ってご参加、ご討論ください。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線:6760）